

# 大分県立芸術文化短期大学 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		大分県立芸術文化短期大学		設置者名		公立大学法人大分県立芸術文化短期大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成26年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業生数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
	美術科 美術専攻	25人	中二種免(美術)	平成18年度	27人	1人	1人	1人
	美術科 デザイン専攻	50人	中二種免(美術)	平成18年度	59人	3人	3人	0人
	音楽科	65人	中二種免(音楽)	平成22年度	60人	20人	20人	0人
入学定員合計		140人	合計		146人	24人	24人	1人
備考	<p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成27年4月1日現在の名称・定員である。          ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p>							

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成27年12月7日（月）

実地視察大学：大分県立芸術文化短期大学

実地視察委員：高旗浩志委員，一木薫委員

### 【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題無く実施されているものの、一部では是正すべき点も確認された。今後、教員養成の水準の向上に努めていただきたい。

### 【個別事項】

#### 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 「知識と感性の調和した人間性」を備え、実践的な指導能力を有する教員の養成という教員養成に対する理念・構想を示しているが、それを具現化するための教職課程の個々の科目に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。

#### 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 「各教科の指導法」に関する科目について、学習指導要領を参考書又はテキストとして含め、科目の趣旨に沿った内容を行っていることが明確になるようシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- シラバスの授業計画の記載について、各回に枝番を附すのみでなく、内容を詳述する等、より学生が理解しやすいシラバス作成に努めていただきたい。

#### 3. 教育実習の取組状況

- 巡回指導を行い、教育実習評価について学内で共有している点は評価できる。
- 一方で「教育実習成績評価票」を刷新し、どのような実習を行い、どのような基準で評価を行うのかを実習校へ伝える仕組みの確立を今後御検討いただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職担当教員が、オリエンテーションをはじめ入学時から学生に非常に丁寧に指導を行っている。また教職をめざして入学した社会人入学生への教職指導や、認定専攻科、あるいは他大学3年次編入等への進学支援を含め、将来の1種免許状取得にも繋がる様々な指導に取り組んでいる点は評価できる。
- 卒業生を指導員として雇用し、学生間の繋がりや現役生と卒業生の繋がりが密となっている点は良い事例である。
- 教科指導法の専任教員が配置されていないこともあって、指導案作成等の指導法に関する内容が薄い印象である。担当の非常勤教員との連携強化に努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- ボランティア活動の体制が整備されていることが確認された。
- 今後は、教育委員会や学校現場と積極的に連携し、学校現場体験や学校支援ボランティア活動を充実させていくことが望ましい。また、現行のボランティア活動を中学校、高等学校教員養成に活かす仕組みを御検討いただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 音楽科、美術科とも、施設・設備が充実していることが確認された。
- 図書については、教科指導法・教育学関連の図書や教科書について新刊も含め、充実を図っていただきたい。

7. その他特記事項

- 特になし。